



# Be an ACE!

大志・貢献・活力

県立直江津中等教育学校

H26学校だより No. 12

平成26年6月20日発行

定期考査や部活動の大会（県総体、市内大会）が終了し、学校は日常生活に戻りました。今週は、前期課程生徒を対象とした進路講演会、中高一貫教育校の特徴を生かした異学年交流（縦割り班活動）や前後期合同部活動練習会が行われましたので、紹介します。

## 前期課程 進路講演会を行いました！

「日時」 6月16日（月）  
「講師」 脇田 哲志 様（京都光華女子大学教授）  
「演題」 「なるほど！ザ・ワールドニュース」



### 【生徒の感想】

- 21世紀はテロの時代だということです。アメリカ同時多発テロから始まり、今もイラクなどで起きているテロのすさまじさを聞きました。（中略）次にマララさんについてです。マララさんは16歳という若さでテロリスト達に立ち向かい、世界を動かしたということに感動しました。（3年生）
- 学校で学ぶことはとても役に立つと思います。大学入試のために勉強するのではなく、世界を変えるために学ぶのではないかと思います。（2年生）

## 異学年交流（縦割り班活動）

本年度からの試みである異学年交流（縦割り班活動）を行いました。全校生徒が60班に分かれて、「中等での生活について」をテーマに座談会形式で話し合いました。

今回は6年生が進行役となり、学習のこと、各学年行事のことなどについて、上級生が下級生に紹介したりアドバイスしたりしました。下級生にとって、先が見通せる絶好の機会となったと思います。



## PTA活動の紹介

先週から来週にかけて学年PTAや地区PTAが開催されています。

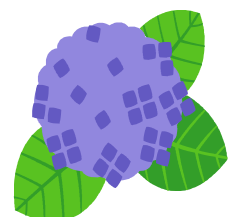
- 高田地区PTA（6月12日開催） 28名参加  
和気藹々の中、親睦を深めました。
- 2学年PTA（6月14日開催） 昼食・茶話会 64名参加  
子どもの生活面や学習面のことを話し合いました。  
本校生徒の出身小学校は上越地区一円であり、保護者同士の交流の場は貴重な時間となったようです。



2年生PTA茶話会

## 来週の主な予定

- 6月 21日（土） ・学校説明会・体験入学会
- 23日（月） ・1、2年生登校 ・6年生進研マーク模試、6学年PTA（PM）
- 24日（火） ・前期課程 上越地区壮行会、市内各種大会報告会（放課後）
- 25日（水） ・前期課程部活動強化週間（～7/1）
- 27日（金） ・学校評議員会
- 28日（土） ・オープンスクール 多くの皆様のご来校をお待ちしています
- 28日（土） ・前後期部活動合同練習会
- 28日（土） ・避難訓練 ・糸魚川地区PTA（18:30～）
- 28日（土） ・1学年PTA給食試食会・茶話会（11:45～）



先日、平成26年度用の「受験体験記」「進路の手引き」を発行しました。3学年以上は全員に配付し、1, 2年生は各教室に数冊ずつ保管しています。「受験体験記」は、Ⅱ期生が受験に関わる成功体験と失敗体験をもとに後輩へのアドバイスを語ったものです。先輩からのアドバイスは、本校の特徴を捉えたものであり、今後の受験勉強に最も有効な手立てが紹介されていると思います。

また、「進路の手引き」は、入試制度や心構え、進路状況を説明したものです。中高一貫教育校である本校のメリットを生かして、前期課程の生徒も、大学入試への関心を高めてほしいと思います。進路指導室や小会議室に並んでいる赤本（各大学の入試問題集）と合わせて、ぜひ一読してほしいと思います。

以下に「受験体験記」「進路の手引き」の一部を紹介します。

## 「平成26年度 受験体験記」より

### 【一番大切なこと】

- 一番大事だと思うのは、早めに目標を立てることです。
- 私が受験を通して一番大切だと感じることは、自分がやるべきことをしっかりと見極めて無理のない計画を立てることです。
- 私が、皆さん一番伝えたいことは、1分でも1秒でも惜しんで勉強に取り組むということです。私は予備校で働いている先輩から都会の受験生の平均勉強時間を聞いてから、何をやるにしても時間ももったいないと思うようになりました。あなたたちのライバルは、1日平均7時間、休日平均10時間、勉強しています。学校がある日でも7時間しています。平均です。普通なんです。だから、これから心が砕けそうになることがたくさんあると思いますが、自分だけでないと自分を奮い立たせて勉強に臨んで下さい。



### 【模試対策】

- 模試対策は多くはしませんでした。しかし、分からなかった問題は絶対に復習しました。特にマーク模試の問題は本番でも類問が出ることもあるので、苦手な教科のチェックは必須です。
- 定期テストは授業を丁寧に受けさえすれば大丈夫だと思います。模試に関してはみなさんも口酸っぱく言われているように復習がもっとも大事だと思います。間違ったところだけでもノートに書き出すか何かして二度と同じ間違いをしないようにして下さい。
- 私は基本的にどの教科も、まず問題を解き、終わったら解答を見て理解し、間違えた問題を全てノートに書き出してまた問題を解く、ということを繰り返していました。間違えた問題を何度も確認することは大切ですし、何よりノートを見ていると、「自分はここまで頑張った」という達成感を得ることができます。

## 「平成26年度 進路の手引き」より

- 1 目標とする大学（志望校）をみつける
  - ①ベースは自己理解・勤労観・職業観
  - ②自分の適性・進みたい分野・就きたい職業を見つけよう
  - ③「学部・学科」「大学」について考えよう
  - ④「文系or理系」「選択科目」を決定します 4年生7月三者面談にて最終決定
  - ⑤目標とする志望校を見つけよう

①～④を踏まえて今後目標とする志望校を見つけます。

- 2 志望校について深める
  - 目標は高く、視野は広く
  - 志望校の様々な情報を集めよう
  - 志望校合格に向けて日々一生懸命努力する

- 3 受験校を決める
  - 入試情報をしっかりと収集しよう
  - 「面談」にて、自分の希望をしっかりと伝えよう
  - 6年時8月以降は、「実力相応校」を見つけよう
  - 合格目指して最後まで粘り強く学習する

